

加盟団体のみなさまへ

令和2年6月30日

長崎県合唱連盟

理事長 伊藤信二

### 合唱活動における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインについて

日頃から合唱連盟活動にご理解・ご協力をいただきまことにありがとうございます。

令和2年度は総会をはじめ、ほとんどの予定行事を中止せざるをえないという状況となりました。

今後の合唱活動をどうやって存続していけばよいのか皆様も苦慮されていることと思います。

長崎県合唱連盟といたしましては、この危機を最大限に回避しながらも少しずつでも前に進むためにどうすればよいのかという「ガイドライン」を考えました。

すでに合唱活動を再開されている団もあろうかと思えます。アナウンスが大変遅くなりましたこととお詫び申し上げますが、なにぶん刻一刻と状況が変化する手探り状態でありますのでなにとぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

5月25日に新型コロナに関してすべての都道府県で緊急事態措置が解除されました。

しかし未だウイルスの実態が明らかにされたわけではなく、治療ワクチンも完成していない状況であることに変わりはないことはご承知のとおりです。その中で私たちの合唱活動をどう再開して行けばよいのかという問いに明確な答えは誰にも出すことはできません。「こうすれば感染は防げる」という解は無いわけですから、私たちは「感染拡大を防ぐにはどうすればよいか」というガイドラインとして考えられることをご提示するほかありません。

とはいえ感染医療の専門家ではない私たちは「新しい生活様式」に即して、できうる限りの努力を試みながら手探りで進んでゆくしかないのです。合唱団が合唱活動でクラスターを起こさないために、皆様と皆様のご家族の健康を守るために、最大限のご努力とご協力を今後もお願い致します。

次ページに私たちの努力目標を提示致しますが、これにより感染拡大がないという保証はありません。最低限のガイドラインということをご認識くださいますようお願い申し上げます。

★合唱活動が「三つの密」と考えられることは否定できない。

★「三つの密」の回避や「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策の継続など、感染拡大を予防する「新しい生活様式」を社会経済全体に定着させていく必要がある。

という観点から

- ① できる限りの広い空間で行い、間隔を2m以上取る。
- ② 極力短時間で行う。
- ③ 当面はマスク着用のままでできる練習を心掛ける。
- ④ 練習に参加する場合は事前に必ず検温を行い、常態でない場合は練習に参加しない。
- ⑤ 体調不良の方は参加不可。  
《体調不良とは》→・発熱（37.5度以上）・咳やのどの痛み・鼻水、鼻づまり・倦怠感・だるさ・味覚、嗅覚の異常・息苦しさなどの自覚症状がある
- ⑥ 県をまたいだ移動や、『2週間以内に感染が発生した都道府県の方』と接触した場合は、慎重な対策・行動（練習参加を自粛する等）をとること。
- ⑦ 換気を30分毎定期的に行う
- ⑧ 入室前には手洗いを行う。
- ⑨ 消毒液を入室・退出の際使用する。
  - ・除菌シートで各自が歌った周辺や椅子を除菌する。
  - ・ピアノや指導用キーボードは練習開始前・練習後に全員で手分けして除菌する。

補足

6月29日付で全日本合唱連盟のHPで詳細なガイドラインが提示されております。

<https://www.dropbox.com/sh/ivh58bvm59n0251/AAB7oKjEIKqHbh1-xa8u17Twa?dl=0&preview=JCAchorusguideline-ver1.pdf>

<https://jcanet.or.jp/JCAchorustaisaku-ver1s.pdf>

併せて是非ご熟読いただきますようお願い致します。

何よりも日常生活での予防措置が第一です。練習会場にウイルスを持ち込まないことをみんなで心掛けましょう。声高らかに歌える日が一日も早く来ることを待ちましょう。